

Focus

— Vol.10 —

生まれ育ったこの下呂まちの魅力—— 初監督映画に全て投入

映画プロデューサー 代情 あきひこ 明彦さん(52)



▲初監督作品の制作に向け意気込みを語る代情明彦さん
＝下呂市民会館


映画プロデューサーとして数多くの作品を手がけてきた代情明彦さん。代情さんがプロデューサーとして携わった映画「万引き家族」が2018年のカンヌ国際映画祭で最高賞「パルムドール」を受賞しました。代情さんは下呂市森の出身。下呂で生まれ、小中学校と下呂で育ちました。大学を卒業後、映画の世界に飛び込んだ代情さんは、「いつか故郷の下呂を舞台にした映画を作りたい」という想いを抱いていたそうです。今回、初監督作品として、竹原地区のトマト農家の青年を主人公とした喜劇映画を全編下呂市内で撮影することになりました。「ポリシー」として、下呂市民に対して嘘のない映画を作りたい。下呂の風景や人々の生活をありのまま表現し、多くの人に楽しんでいただけるような作品にしたい」と抱負を語りました。

COVER — 今月の表紙 —



冬の温泉街は、阿多野谷沿いでほのかに灯る雪模様の行灯によって、温かな雰囲気になります。行灯の中にはハートの模様のももの。ぜひ探してみてください。

災害の情報をいち早くお知らせ
「Yahoo! 防災アプリ」を活用ください！



自治体からの緊急情報 エリア拡大中

下呂市では、「Yahoo! 防災速報」を活用した防災情報の配信を開始しました。身の安全を守るためにお役立てください。

